



育成会最大の行事、場広山ハイキング。約270人が参加し、山歩きを楽しみました。



第35号

発行者 遠山 豊
編集者 矢澤 力
印刷 (株)小松総合印刷

美篇青少年育成会 会長
遠山 豊

夢を持つ

人生において、夢を持つことの大切さを聞いた事がある人は多いと思います。特に若者が将来に夢や希望をもつこと。これは実は大切なことだと感じています。夢を持つことは、人生を切り開く原動力となるからだけではなく、日々の行動や決断に目的を与え、モチベーションを高める効果があります。明確な夢を持つことで、自分が何を目標としているのかが分かるようになってきます。又、個人の心理的安定や社会的なつながりを強化する効果もあります。夢を追い求めることで、自己肯定感が高まり、周囲との関係も豊かになってきます。

「夢」という言葉の意味を考えてみます。夢は、単なる目標以上のものです。時には無理なこともあるほど大きく、心を躍らせるようなものです。目標が具体的に測れるものに対し、夢はもっと漠然としていて、感情的な要素も含んできます。夢という現実ばなれした気がするなら、単に「やりたいこと」「興味関心のあること」と言い換えても良いかもしれません。

実業家であるウオルト・ディズニーは、こんなことを言っています。「夢は実現できるんだ。いつだって忘れないでいてほしい。なにもかも、すべては一匹のねずみから始まったということを」「ミッキーマウスからすべて始まった。ゼロからスタートできることを忘れてはならない。」

夢を持つという綺麗な話を話してきましたが、実は失うものもあるのです。何をしたいかにもよりますが、覚悟が必要になってきます。特に夢を実現するための時間が費やされます。場合によっては仲間と一緒に楽しく過ごす時間が減るかもしれません。お金もかかる場合もあります。但し、夢の実現にはそれ以上の効果があります。夢を持ち、諦めずに生きていきたいものです。

「行てきます」と言える幸せをかみしめて...

美篇青少年育成会 理事
美篇小学校長
大日野 剛

「行てきます。」
「行てらっしゃい。」

毎朝毎朝、多くの家庭では、この決まり切った言葉のやり取りがごく普通に当たり前に交わされていることと思います(時には親子でけんかをしながら、このやりとりがない日もあるかもしれませんが...)。

この言葉のやり取りについて、これまで特別に深く考えたことはなかったのですが、以前参加した会議の冒頭の挨拶で聞いた話をきっかけに、深く考え、次のような内容でした。

「今年の夏、パリオリンピックで大活躍をした卓球の早田ひな選手が、帰国後の会見で言きたい場所を問われ「鹿児島の特攻資料館に行きたい(後略)」と答え、様々な反響があった。私はこの「特攻資料館」について興味を持ち色々調べてみた。その中で、特攻隊員の出撃時の挨拶は「行てきます」ではなく「行きます」であると知った。」

私も初めて聞く内容でしたので、すぐに「特攻資料館 知覧特攻平和会館のことと思われる」についてネットで調べてみました。そこには特攻隊員としての命を落とした若者たちのことが書かれていました。その中で、「行きます」について書かれているものを見つけました。「普通は行てまた帰ってくるから「行てきます」。でも帰ることはできない特攻隊の出撃時の挨拶は「行きます」です...」私は言葉もありませんでした。父母や兄弟姉妹、恋人、妻や幼な子他、愛する人を残し、「行きます」と言て飛び立つて行った特攻隊の若者たち...。簡単には想像しがたいその心中を思うと、苦しく切なくやり切れない気持ちでいっぱいになりました。と同時に、「行てきます」「行てらっしゃい」という言葉のやり取りを、ごく普通に当たり前に交わすことができる平和で幸せな毎日が本当に尊く、心からありがたいなという思いがこみ上げてきました。みすずの皆さん、朝家を出るときは元気に「行てきます。」と言いましょ。お家の皆さん、これ以上ない笑顔で「行てらっしゃい。」と見送ってあげてください。今のこの幸せな瞬間をかみしめながら...



逆境を力に変えて



美鷲青少年育成会 副会長
美鷲小学校PTA会長
大山 優人

新型コロナウイルスに振り回された数年、子どもたちは常に我慢と忍耐をさせる生活を強いられました。様々な行事が中止になり、縮小され、今までの形では行事も継続できなくなっていました。

新型コロナウイルスが第五類に分類された現在でも、感染者が増える時期もあり収束はみえませんが、今後も感染リスクを管理しながら、日常生活を続けていくことが求められています。

小学校の行事はというと、「コロナウイルス流行以前とほぼ同じように行事が開催できるようになってきました。今まで我慢させていた分、子どもたちには一つ一つの行事を思う存分に、楽しんでもらいたいと思うところであります。しかし「ステイホーム」が推奨され、外で遊ぶ機会を失った子どもの中には、コミュニケーションスキルや協調性の発達が遅れ、友達とどう遊んでいいかわからないといった問題もあるようです。

育成会の活動は親子青空教室からボッチャ大会、デイキャンプ、場広山ハイキングと様々な分野の活動をしていきます。

ステイホーム期間中、自粛生活を余儀なくされた子どもたちにとって、このような活動は貴重な機会となりました。初めは戸惑いながら行動していた子どもが、次第に声を掛け合い熱中し

ていく。デイキャンプでは自然と仲間と協力し合い、ボッチャではチームワークが生まれていました。ハイキングでは友達と一緒に頂上を目指し、楽しみながら目標を達成しました。このようにお互いに助け合い、困っている友達に手を差し伸べながら笑顔で取り組む姿を見ると、こうした体験が子どもたちにとって絆を深め、協力の大切さを学ぶ貴重な機会であることを改めて感じました。

「コロナ禍を乗り越えてきた子どもたちは、その中でも様々な挑戦をしてきました。そしてその過程で得たものも少なくありません。これから未来で彼らのこうした経験が強みとなり、柔軟で適応力の高い世代として育っていくことを願っています。

おいで塾



美鷲青少年育成会 副会長
美鷲公民館長
宮下 徳雄

美鷲公民館では、小学校の夏休みに合わせて「おいで塾」を三日間開催しています。午前は夏休みの課題学習、午後はレクリエーション的要素を加味した体験活動です。今年もスタッフを募り昨年同様定員三十八人で募集しましたところ、六十五人もの応募がありました。そこで期待の大きさを受け止め、急遽教員経験のある方や民生委員の方、小学校の先生方にも再度声がけてボラ

ンティアをお願いしました。午後の講師の方の了解が得られ会場を増やして何とか全員をお引き受けすることとなりました。七月十日に保護者の方向けの事前説明会を開きました。児童の皆さんが安心安全に生活できるように、ボランティアの皆さんに道り甲斐を感じていただければ、共に気持ちの良い汗が流れることを願いました。そのため少々厳しい受入れ条件にもご理解と承諾を頂きました。

上級生がリーダーとなり一年生から六年生までの縦割り班で午前の学習から帰りまで一緒に活動しました。午後は山岸和成先生による「風船バレー」、伊藤幸男さん他「木棲舎」の方による水鉄砲作り、恒例の映画鑑賞でした。昼食は初日がお弁当持参で、翌日は「志和の会」の皆さんのお弁当、最終日は市社会福祉協議会からチキン丼の提供でした。

最終日のこと家庭の方の迎えを待つ四年生の集団が自主的に片付けの手伝いを始めてくれました。小学生のいい子たちと別れを惜しみ、同時に来年度への期待が膨らみました。

数日後あるスタッフの方から手紙が届きました。いくつかの提案とともに「子どもたちの関わりのおかげで、多くの発見と刺激と新しい視座を与えてもらい、楽しげな表情、集中している眼差し、時には嫌な思いをさせてしまったことなど、今でも話題になり、私たちにとても中身の濃い三日間でした。これからも美鷲の子どもたちの豊かな日常を支えるお手伝いが少しでもできればと思っています」とありました。健やかな成長を願う地域の方の思いに触れ有難く拝読しました。

場広山ハイキング

令和6年
5月26日
場広山
(高島谷山)



楽しかった場広山ハイキング

南副六年 北原 海由奈

わたしは初めて場広山ハイキングに行きました。その中で思ったこと感じたこと楽しかったことをしようかしします。まず登っている時わたしは山の中に入ってわくわくときどきしてました。登っているとちゅううんとか川みたいなのが道路を通っていたのでびっくりしま

場広山ハイキング

上大島六年 春日 胡波

した。もうすぐちゅううんというところであまり景色が見えな時すくすくきいだったのではやくちゅううんへ行きたいと思いました。ちゅううんへついたら景色はすくすくきいでした。とん汁もおいしかったです。おりるときはすくすく早く感じました。とても楽しかったし自然をたくさん感じれたなと思いました。すくすくいい経験になりました。

私は、先日場広山へいってきました。私は正直、あまり山登りが好きではありません。山登りは、ただ山を登って、つかれて帰るだけだからです。それに山を登るにはとても急で、道にまで木がおおいかがさつていて登るのがとても大変な所を歩かなくてはいけないと思っていました。でも場広山の山道は私が思ったのとちがいました。道は広くキレイで木で道がふさがっていることもありませんでした。なのでとても登りやすかったです。

そして、私が一番感動したのがちゅう上からの景色です。伊那のキレイな景色を楽しむことができました。それから、頂上で行ったビンゴ大会も満足できる景品をもらえました。とんじるもおいしく楽しかったです。

やっぱり山登りはつかれたけどキレイな景色を見ることが出来てよかったです。

場広山ハイキングの思い出

中興六年 森田 愛菜

私は、初めて場広山ハイキングに参加しました。場広山ハイキングに行く前は、とてもたのしみでした。当日は、中県のお友だちも来て、うれしかったです。私は場広山の山を見てこう思いました。すごく高くてのぼれるかなって思いました。最初、歩いた時、坂が少し急で少しつかれてしまいました。だけど、周りのお友だちと、楽しくおしゃべりしながらのぼったので、少しつかれていただけ、最後までのぼることができました。頂上の景色はとてもきれいで感動しました。お母さんがつくってくれたお弁当もとてもおいしかったです。こんなにきれいな景色を見れるなら、またみんなと一緒に行きたいです。



はじめての場広山ハイキング

上川手三年 松尾 琴芭

わたしは、はじめて場広山ハイキングをしました。いっぱい歩いて友だちと話したりして楽しく上へどんどん歩きました。わたしは、さいしよすごくドキドキしていました。てっぺんの近くはわかつたです。一番上へ行ったら、スゴくうつくしい景色でした。お昼を食べました。お母さんが作ったおにぎりと地くの人たちが作ってくれたとんじるスゴくおいしかったです。とんじる三はいもわかかりました。そのあとビンゴをしました。わたしは、せんぶうきをもらいました。うれしかったです。つかれたけどがんばってさいごまで下ることができました。来年も行きたいと思いました。キレイなけしきは、わすれられせん。

六年生最後の場広山ハイキング

下川手六年 鈴木 陽翔

ぼくは、場広山ハイキングに二回参加したことがあります。今年の場広山ハイキングは、同じクラス友達と「一緒にのぼろう」と約束して一緒にのぼれました。頂上は、すがすがしく晴れていて、暖かかったです。景色もよく、きれいでした。お昼は、役員が作ってくれたとん汁を食べました。きれいな景色を見ながら食べるとん汁は最高においしかったです。三杯食べました。

最後に六年生みんな、集合写真を撮りました。ぜったいわすれられないおもいでになりました。

楽しかった場広山

青島六年 登内 麻央

六月二十六日に場広山へ行きました。今年初めて行くのでとても楽しみにしていました。

当日、少し早め起きて学校に集合しました。おかしとアクエリをもらえてうれしかったです。その後、あんちゃんの家の中に乗せてもらって場広山に移動しました。早めに学校を出たので混まなくてよかったです。

地区ごとに集まって出発しました。最初からずっと坂道が続いていてつらかったです。でもあんちゃんやすずちゃんといっしょにしゃべりながら歩いているとあつというまでした。

しばらく歩くと急な坂十五分くらいでいける山道とゆるやかな坂で三十分かかるコースに分かれることになりました。でもそのときママとりつきとあんちゃん達がトイレに行っていてちやう



に行くかとても迷いましたがママ達をおいてゆるやかコースに行くことにしました。すずちゃんといっしょだったので心強かったけど少し心配になりました。頂上についてまわりを見わたすとママがいて話を聞くとりつきがきつい方のコースをどんどんとあまりつかれずに進んでいったらしくりつきの体力はおそろしいと思いました。

お昼の時間になりとん汁とおにぎり

を食べました。とん汁はあつあつでおいしかったです。しばらくするとビンゴ大会があり、りつきのカードと自分のカードの二まい持ちでがんばりましたがビンゴになりませんでした。なのでじゃんけんをしておかしをもらいました。少し下山しました。とても楽で感づきました。とてもつかれて帰りの車でりつきがねてしまっていました。とてもたのしかったです。

信州あいさつ運動

毎月十一日は、県下一斉「信州あいさつ運動」が行われております。登校してくる児童たちと、元気いっぱいあいさつが交わされておりました。



令和6年度内容及び日程

- 5/19
開校式、田植え
- 6/8
さつまいも
落花生植え付け
- 7/21
小黑川デイキャンプ
- 7/28
じゃがいも
スイートコーン収穫
- 8/17
トマトの収穫
- 9/14
稲刈り
- 10/26
さつまいも
落花生収穫
焼き芋大会
- 12/7
閉校式
しめ縄作り

親子青空教室



青空教室にかかわって



郷土料理伝承家
酒井 さつき

平成十五年に学校がゆとり教育の週休二日制となり、勤めている親、孫を預かる年寄りの負担、生活部会でも何かしなければと思い、公民館の理事さんに話しました。公民館でも何かしなければと考えていたところでした。地域の子供たちを支える目的は同じ。学校、育成会にも呼びかけ賛同を得、それぞれで話し合い、「青空教室」の開催が始まりました。老人会にも協力をお願いして募集が始まり六十人もの子供たちが参加してきました。急遽園場を二か所にし、五月より開催しました。当初は手伝い人数は、公民館は二人、農協は四人と、育成会は一人、と協力者は少なく大変な思いをしました。種まき、草むしり、雨が降れば急遽、牛乳パックを持ち込み、工作の鉛筆立てを造ったり、それはそれは賑やかで大変でした。しかし収穫になり、じゃがいもやトウモロコシ等、新鮮な味は格別。あまーい、ほくほくだー等みんな汗を流して収穫した味に満足。収穫の喜びを知りました。

「沢山取れておうちに持ち帰ってもいいよ」、「でも虫食っているからいらない」「虫が食べるという事は安全という事だよ」と話すと、「じゃあもう一つ」と、食の安全を知ります。一年目は欲張ってジャガイモ、さつまいも、モロシ、こんにゃく、大豆と作り、みそを作りました。みそも一年たたなきや食べられな

いこと、こんにゃくは三年たたなきやこんにゃくにならないことを学びました。大変な一年目でしたが、二年目は農協の青年部、退職者の会も協力してくれたこととなり、益々力強い活動となりました。

平成二十二年からは親子青空教室となり親子で参加するようになりました。

文科省のゆとり教育、子供に生きる力をつける活動をという事で始まった週休二日制。あるお母さんから「知的障害のある子どもでしたが」「青空教室があつて本当に良かった、今でも私の畑で作付けし、収穫したもの的加工して保存までしています。」と伺い、一人でも「生きる力が生まれた。」と涙がでました。嬉しく。

昨今気候変動、戦争などで輸入に頼っていた日本は食料の高騰などで家計が大変です。生きるために農業はますます大切です。作る喜び、食の大切さを学ぶ青空教室が二十三年続いているなんて、これも地域が一体で支えてきたおかげです。これからも地域の活動として食農教育の場所として続くことを願います。

デイキャンプ

笠原 五年 宮下 瑠依

七月二十一日曜日に青空教室のデイキャンプがありました。はじめは魚つかみで、「ジマスをつかみました。弟は一人で三びきもつきました。私はさこのほうまでつかめず、お父さんにつかってももらいました。そのあと魚の塩やきをつくりました。自分をつくったのは食べるのが出きなかったけれどおい

しかったです。

カレー作りは、たまねぎをおおきく切りました。カレーはいえで食べるよりも外で食べるほうが百倍もおいしかったです。そしてとちゅうでトイレに行った時、トカゲがいました。しっぽが光ってきれいでした。

そして三時ごろスイカわりがありました。小さいこも、すこしずつひびが入っていました。私はすこしもあたらなかったのでもよくやかったです。来年のデイキャンプはスイカにあてたいです。



たのしかったデイキャンプ

下川手 一年 きたじま はるき

はじめてデイキャンプにいきました。キャンプじょうにみんなといられて、とてもうれしかったです。

さかなつかみはむずかしかったけれど、あみのところだったので、つかまえやすかったです。ガシツもつって、つよくつかんでバケツにいれました。さかなはおなかのほうからさばいて、えらをとって、ないぞうをとって、くしをさしました。これからたべるから、かんしやる

ねのきもちでやりました。
カレーをつくりました。にんじんをきって、なべていためました。ではあつくて、けむりもめにはいつてたいへんでした。はんごうをはじめてみられたのはうれしかったです。
さかなはうまいーうまいーでした。カレーはうまかつたなあ。またらいねんもデイクャンにいききたいです。



イネ刈りをしたよ

下県三年 はしもと ようすけ

九月の親子青空教室ではイネ刈りをしました。かまをつかってひと束ずつイネを刈とり、束ねたイネを干しました。みんなで一生けんめいたくさん刈りました。むずかしいけど楽しかったです。ぼくは二回目のイネ刈りで、前より上手にできたとおもいます。

イネ刈りをしたたんぼの大きさは「七せ」だとおしえてもらいました。「十せ」で一たんぼです。ぼくたちは五月の田うえとイネ刈りの一部分を体験したけど、水のかんりや草がかりな

ど、おこめをそだてるのにどのくらい手がかかっているのか気になりました。
おわたあとに、おにぎりとおツップコーンようのとうもろこしをもらいました。ゆかりもわかめもおいしかったです。ポツポツコーンはビビが入るころまでかんそうさせてから食べます。



楽しい楽しいおたのしみ会

芦沢五年 矢島 海翔

夏のお楽しみ会では、ドッチボール、水遊び、バーベキュー、スイカ割り、花火、おぼけ屋敷をやりました。最初にドッチボールで子ども大人を分けてやりました。次に水遊びで、水でつぼや風せんで遊びました。次にバーベキューでは、お肉などを食べて、その次に、スイカ割りをしました。

暗くなってきたら、花火とおぼけ屋敷をやりました。始めに、花火で色々な種類のをやりました。最後に、二三人一組でおぼけ屋敷をやりました。どれも楽しかったけど、一番楽しかったのは水遊びでした。



支部行事の思い出や感想



支部行事の思い出

横町六年 濱島 悠

私がこの夏休みの支部行事で思い出にのこったことは、みはらしファームでピザ作りをしたことです。ピザ作りでは、パッキー、とうもろこし、ベーコン、チーズ、オリーブオイルをつかいました。きんとうに切ったり、ピザのきじからはみでないように具材をのせるのがむずかしかったです。だけど、友だちや家族といっしょにピザを作るのは、とても楽しかったです。私たち六年生は小学校の夏休みがこれでさいごだから、少しほかの学年の人たちがうらやましいです。でも、ほかの学年の人たちが、私たちが卒業したあとも、楽しく学校生活がおくれるように、しっかり色々なことをひきついでいきたいです。

支部行事の思い出

上原 六年 山川 桜

七月二十七日、この日には三つの支部行事がありました。朝は自転車教室、昼にもの作り体験、夜には花火大会がありました。どれもすごくおもしろくて、夏休みの思い出になりました。その中でも思い出に残った行事は、花火大会です。なぜかというと、私は花火をしたことはたくさんありますが、友達や多くの友達と花火をするということは、まったくなくて、前日からわくわくしていました。

そして当日、打ち上げ花火や手持ち花火などをして、すごくきれいでした。たくさん花火をしたので、とても楽しかったし、大切な思い出となりました。またやるか分からないけど、機会があったらみんなで行きたいです。



支部行事の思い出

末広 六年 伊澤 侑矢

ぼくは、支部の夏休み行事に参加しました。そこで行ったのは、マレットゴルフ、バーベキュー、ビンゴです。初めて参加したけど、みんなと遊べたり、かわりのない人とも話せてよかったです。

まず、マレットゴルフでは、自分のペースであわせて打てますが、なかなか入らず、くせしかったです。

バーベキューでは、おいしそうなお肉を食べたり、みんなが集まってごちそうを食べることが無いので楽しかったです。

ビンゴでは、楽しくできてよかったです。その後、近くの公園でみんなと遊びました。今年の夏も暑いので、元気でいきたいです。



つりぼりでBBQ

下原 四年 有賀 結衣菜

今日、下原地区の親子交流会がありました。親子交流会では、つりとBBQをしました。高遠の大明神つりぼりセンターに行きました。最初につりぼりでマスを釣りました。最初は上手いかなかったです。釣れるようになってきました。一人一匹ずつ釣りました。友達のきおちゃんたちと釣った魚やお肉、ウインナー、マッシュポテトを食べました。すごくおいしかったです。

BBQの後にビンゴ大会がありました。色々な景品がありました。ビンゴになっていたのに気付かなくてねらっていた水でうづがとられてしまい、とても残念でした。でも、バスボールが当たってうれしかったです。終わった後にきおちゃんにおかしをもらって、いっしょに食べました。時間まで遊んでとても楽しかったです。

来年の親子交流会が楽しみです。



下川手の支部行事

下川手 六年 山岸 琉依

下川手の支部行事は七月二十七日に、六道の森の清掃、継承の会の生き物調査、飯盒炊はんや交通安全教室、花火大会を行いました。

飯盒炊はんは、下川手の児童と家族が集まり九十人ぐらいいました。

天気の良い日で外でカレーを作る予定でしたが、あらかじめ役員さんがカレーを作ってくれました。カレーの他にフランクフルト、マッシュポテトがでてきました。カレーは、ふだん食べているカレーより甘口でしたが、みんな食べて喜んでいました。

その後みんなで花火をしました。手持ち花火をした後に打ち上げ花火もあり、きれいで楽しかったです。小学生最後の夏行事の思い出になりました。



ネイチャースクールの思い出

青島 六年 小林 宏大

ネイチャースクールでの思い出を二つ紹介します。

一つ目は、青島地区にある富島鉄工所が新しく作業場を建てたのを見てもらいました。沢山の大きな機械があり、天上には大きなクレーンが二つあっていたり、普段見ることのできない物が見れてよかったです。

二つ目は、ビンゴ大会です。ぼくは、友達とどちらが早く景品を取れるか勝負しました。最初は、全然穴があかなかつたけど、後半になるとドンドン穴が空き、ついにビンゴになりました。友達の中でぼくが一番早くビンゴになりました。景品でシャボン玉の出るおもちゃをもらいました。みんなで食べたカレーやフランクフルトが美味しかったです。暑い中食べたかき氷もサイコーでした。

ぼくにとつて最後のネイチャースクールになります。コロナで出来なかった年もあり、このようにみんなと楽しむことができてよかったです。これからも続けていってほしいと思います。



ボッチャ・ビンゴ大会



ボッチャ・ビンゴ大会

上原 六年 小池 勇翔

七月七日にボッチャ・ビンゴ大会が行われました。

最初はボッチャでした。ボッチャのルールは、知らなかったのですが、始めにルールを教えてもらったのと、実際にプレイする内にわかるようになりました。

キャプテンは、じゃんけんで負けた人がやることになり、じゃんけんをするたびくが負けたので、キャプテンになりました。

チームには、ゆうすけ君とかえて君がいたのでとてもやりやすかったです。白いボールを自分のチームの近いところに置くことをチームで決めてやりました。その後、自分のボールを白いボールの近くに投げたのですが、うまくいくときと、いかないときがありました。

楽しかったボッチャ・ビンゴ大会

末広 六年 小松 花音

七月七日にボッチャ・ビンゴ大会がありました。最初に、四チームに分かれてボッチャの試合をしました。私はボッチャをするのが初めてで、ボールを持つたら重かったです。

ボールを投げてみて、ボールを当てるのがむずかしかったし、投げたい所に転がすのがうまくできませんでした。始めは、ボールを投げる力の加減や方向がむずかしくて、手前に止まってしまう事が多かったです。

私のチームはなかなか勝てなかったけど、チームの人達と協力して勝てた時は、すごくうれしかったです。ボッチャの試合中、楽しくてずっと笑っていました。残念ながら、私達のチームは一位になれなくてやさしかったけれど、また六年生の人みんなでボッチャをやりたいと思いました。



次に、ビンゴ大会がありました。景品の中には、私のほしい物がたくさんあったけれど、友達やみんながどんどんとビンゴしていった、私はぜんぜんビンゴできなくてドキドキしていたけれども、ビンゴして自分のほしい景品がゲットできて良かったです。

ボッチャもビンゴも楽しかったので、またみんなでやりたいです。



伊那祭りの思い出

伊那まつり

青島三年 長谷川 いろは

わたしははじめてドラゴンおどりに参加しました。練習ができるかなー？ちゃんとおどれるかなーと不安でした。夏休みの前からじまじま練習の一回目は、ダンサーさんのおどりをしているのがやっとならぬ三回目とやるにつれて手の動きや足のステップをおぼえて合わせられる様になりました。

本番のおまつりの日、夕方になるにつれてそわそわしてしましたが、友だちに会って話していたらみんなもういなくなり、音楽に合わせておどりました。何回もくりかえしていくにつれて楽しくわくわくとおどれて、伊那がしなど他のおどりもちゃんと合わせられて、とても楽しかったです。クラスの友だちと練習から本番のダンスをみんなできてとてもいい思い出ができました。



クラブ活動

全日本U-12サッカー選手権に向けて

下県六年 梅垣 健大

ぼくは、小学校四年生の時サッカーチームFCグランチェスに入団しました。

FCグランチェスは美簗小学校を中心に週三回程度活動しています。二年間のチームで活動した中で一番の思い出は、五年生の時に参加させてもらった全日本U-12サッカー選手権です。その試合は勝てませんでした。けれど、整備された芝のグラウンドで試合ができたことや初めての雰囲気にとっても緊張したことは忘れません。



今年は最高学年としてその大会に出場します。今年の六年生は美簗小、伊那北小、長谷小、新山小、高遠小からメンバーが集まり一緒に練習しています。ぼくは、このメンバーで戦うことが本当に楽しみです。コーチから教わったたくさんのお話を大会で出し切つて、ONEチームで一つでも多く勝ちたいです。

令和6年度 美簗青少年育成会役員



美簗青少年育成会 会長、推進委員

- | | |
|--------------|------------|
| ■ 会長 | 遠山 豊(下川手) |
| ■ 副会長(区長会) | 赤羽 祐二(笠原) |
| 〃 (小学校PTA会長) | 大山 優人(上原) |
| 〃 (社協会長) | 伊藤 敏(中県) |
| 〃 (公民館長) | 宮下 徳雄(芦沢) |
| ■ 総務部長 | 北原 和幸(上大島) |
| ■ 会計 | 北原 和貴(横町) |
| ■ 監事(分館長会長) | 海邊 隆(下県) |
| 〃 (民生児童委員) | 飯島 高枝(上大島) |
| ■ 推進委員 | |
| 宮下 圭一(芦沢) | 小池 賢治(上原) |
| 保谷 昇(笠原) | 伊東 直彦(中県) |
| 伊藤 佑(南割) | 梅垣 勸(下県) |
| 北原 和貴(横町) | 松尾 勇樹(上川手) |
| 北原 和幸(上大島) | 高木由紀恵(下川手) |
| 春日 千広(末広) | 矢澤 力(青島) |

編集後記

新型コロナウイルス感染症が五類に移行し二年が経ち、例年同様の行事を行う事ができました。今年は異常な猛暑により、作物がうまく実らない事が有りましたが、そんな中でも子供たちの楽しそうな笑顔にふれて、地域全体で子供たちの育成・安全確保に取り組む美簗のすばらしさを感じました。

広報誌「ふれあい」の発行にあたり、原稿をお寄せいただいた方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

